

中部管内の新規登録湿地の概要

登録湿地名	所在地	面積(ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
立山弥陀ヶ原・大日平	富山県中新川郡立山町	574ha	雪田草原	北アルプス国立公園 特別保護地区	雪田草原である弥陀ヶ原・大日平と豊富な水量を誇る称名溪谷と称名滝からなる。過去の火山活動によって形成されたなだらかな「溶岩台地」上に広がり、寒冷な気候と豪雪、豊富な水、強風の影響を受けて成立した湿地である。
中池見湿地	福井県敦賀市	87ha	低層湿原、厚く堆積した泥炭層	越前加賀海岸国立公園特別地域	敦賀市の市街地から北東部に位置し、その地形は袋状埋積谷と呼ばれる。江戸時代に湿地を新田開発した湿地であり、近年まで未整備の湿地で稲作が続けられていたが、現在は湿地の保全活動を目的とした湿地以外はすべて耕作放棄されている。絶滅危惧種であるデンジソウやミズトラノオなどの多様な水生・湿生植物が確認されている。また、地下には約40mにおよぶ、10万年の気候変動を記録した泥炭埋積物が確認されている。
東海丘陵湧水湿地群	愛知県豊田市	23ha	非泥炭性湿地(貧栄養性湿地)、シデコブシやシラタマホシクサ等の生育地、ヒメタイコウチ等の生息地	愛知高原国立公園特別地域	愛知県豊田市の矢並湿地と上高湿地、恩真寺湿地の3つの湿地からなる。矢並湿地は草本群落が優先し、上高湿地と恩真寺湿地は、草本群落とシデコブシを中心とする温帯林である。周伊勢湾地域の多くの固有種を有するほか、大陸系の隔離分布種が存在している湿地である。

我が国のラムサール条約湿地 箇所数:37箇所 → 46箇所 (9箇所増加)